



新役員が選出され、 新たな体制で スタート

去る三月二十三日(日)に県立武道館会議室において福井県剣道連盟理事会・評議員会が開催され、新役員を選出と、平成二十年度の重点目標や事業計画、収支予算の審議がなされました。

新役員として、岩崎貞夫氏(南越前町)および片山外一氏(福井市)が副会長に選出され、藤田健次副会長、小西清光副会長とともに、土谷靖彦会長を盛り立て、当連盟の牽引役を担っていただくことになりました。

また、副理事長に西川謙氏(南越前町)を、会長指名の常任理事に高森政義氏(福井市)、柳沢峰生氏(福井市)、山本英俊氏(福井市)を新たに選出し、執行部の増員強化を図り、新年度に臨むことになりました。

第59号
発行人
福井県剣道連盟
理事長 市橋和廣
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
㈱マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp



新副会長 片山外一氏



新副会長 岩崎貞夫氏

このほか、各専門委員会委員にも新たなメンバーに加わっていたが、昨年策定した長期構想の具体化に向け、さらに邁進してまいります。

平成二十年度の重点目標および重点事業は次のとおりです。

平成二十年度重点目標

- 一 第六十三回大分国体に、全種目出場、入賞を目標に選手強化を図る。
- 二 全国大会での入賞を目標に、選手強化を図る。
- 三 少年剣道を軸として、底辺の拡大を図る。

四 傘下団体との連帯を一層強化することにより、剣道の活性化を図る。

平成二十年度重点事業

- 一 二巡目の福井国体の成功を期し、長期構想に基づき、福井県剣道連盟の活性化と選手強化等を図る。

平成二十年度の事業計画の主なものとして、全日本剣道連盟から講師を招いての審判法講習会を九月七日(日)に県立武道館で開催します。審判技術の向上を図るまたとない機会です。会員の皆様の多数のご参加をお願いいたします。

また、合同稽古会を、四月二十日(県立武道館)、六月十五日(県立武道館)、九月二十一日(敦賀市)、十一月三十日(越前市)の四回開催しますが、より多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、四月は寿康剣道大会と、六月は全国家庭婦人県内予選会と、九月は剣道指導者講習会と併せて、それぞれ実施することとします。

さらに、本年三月八日に開催し好評を博した世界一剣道教室について、講師や対象者を改めて検討し、二十年度も実施する予定です。

本年度も当剣道連盟の事業推進にご理解、ご協力を賜りますとともに、各種事業活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

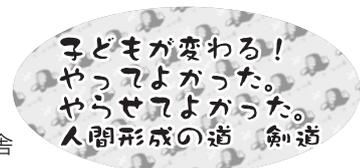
私たちは日本の伝統文化の継承と青少年の健全育成を目標に活動しています。

福井県剣道連盟の充実・発展にお力を！

只今 賛助会員募集中

賛助会費 企業・団体会員 1□ 30,000円
個人会員 1□ 10,000円

お申し込みは福井県剣道連盟事務局へ
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 ㈱マルツ電波二の宮店 付属舎
電話・FAX 0776-28-6616 メール: fkikendo@herb.ocn.ne.jp





教室の先生は、世界剣道選手権大会や全日本剣道選手権大会の優勝でおなじみの栄花直輝先生（北海道警察機動隊）です。一流の技を学び、また直接指導を受けられる機会とあって、県内四十一の少年剣道教室、道場、スポーツ少年団に所

れましました。 暦の上では春になったとはいえ、まだまだ肌寒い三月。県剣道連盟の初の試みとして「世界一少年剣道教室」が開催されました。

世界一少年剣道教室開催

栄花直輝先生 来たる

3月8日

於 県立武道館

属する小学四年生から六年生と、その指導者・保護者を合わせて四〇〇名以上が参加。寒さも感じさせぬ熱気で、大いに盛り上がりました。 開始時間の九時と同時に、大きな拍手に迎えられて栄花先生が登場。「少しでも多くの時間を、福井の子もたちの練習に費やしたい」と、早速指導に入りました。 まずは、準備運動。柔軟体操一つとっても、どこをどう伸ばすのかを丁寧に説



平成20年度 福井県剣道連盟事業計画

期	日	曜	日	事	業	名	場	所				
4	5~6	土	日	第43回東日本中央講習会			東京都	東京				
				剣道形講習会			県武道館	福井				
				大分国体成年男女一次選考会			県武道館	福井				
				第6回寿康剣道大会			県武道館	福井				
				合同稽古会			県武道館	福井				
				第56回全日本都道府県対抗剣道優勝大会			大阪府	大阪				
				剣道 六段審査会			京都市	京都				
				春季高校選手権大会			京都市	京都				
				剣道 七段審査会			京都市	京都				
				剣道 八段審査会			京都市	京都				
5	1~2	木	金	第104回全日本剣道演武大会			京都市	京都				
				居合 八段審査会			京都市	京都				
				居合 称号(範士・教士・錬士)審査会			京都市	京都				
				居合 称号(範士・教士・錬士)審査会			京都市	京都				
				剣道 七段審査会			京都市	京都				
				剣道 六段審査会			名古屋市	名古屋				
				剣道 段位審査会			県武道館	福井				
				第13回女子審判講習会			東京都	東京				
				剣道指導者講習会			県武道館	福井				
				第14回中堅剣士講習会			奈良市	奈良				
6	6~8	金	日	県高校春季総体			県武道館	福井				
				居合 六・七段審査会			石川県	石川				
				居合 地区講習会			石川県	石川				
				全国家庭婦人県内予選会			県武道館	福井				
				合同稽古会			県武道館	福井				
				北信越高校剣道大会			県武道館	福井				
				剣道形講習会			敦賀市	敦賀				
				少年剣道大会(社明運動)			県武道館	福井				
				居合 六・七段審査会			長崎県	長崎				
				第42回少年剣道錬成大会			県武道館	福井				
7	6	日	金	第25回全国家庭婦人剣道大会			東京都	東京				
				大分国体最終選考会			県武道館	福井				
				県中体連夏季総体			県武道館	福井				
				平成20年度全日本少年武道錬成大会			東京都	東京				
				第5回福井県剣道選手権大会			敦賀市	敦賀				
				8	2~4	土	月	第55回全国高等学校剣道大会			越谷市	埼玉
								第21回福井県居合道大会			県武道館	福井
								第29回北信越中学総体			石川県	石川
								剣道 七段審査会			石川県	石川
								県民スポーツ祭(土・高校)(日・一般)			県武道館	福井
剣道 六段審査会			石川県					石川				
第50回全国教職員剣道大会			愛媛県					愛媛				
第41回奥越剣道大会			敦賀市					敦賀				
剣道 段位審査会			敦賀市					敦賀				
第38回全国中学剣道大会			敦賀市					敦賀				
9	2~4	土	月	第38回全国中学剣道大会			敦賀市	敦賀				
				県教職員剣道大会			敦賀市	敦賀				
				剣道 六段審査会			福井市	福井				
				第29回北信越国民体育大会			福井市	福井				
				剣道 六段審査会			福井市	福井				
				第29回北信越国民体育大会			福井市	福井				
				第37回福井県少年少女剣道錬成武生大会			越前市	越前				

期	日	曜	日	事	業	名	場	所				
9	7	日	土	第47回全日本女子剣道選手権大会			藤枝市	静岡				
				全剣連講習会(審判法)			県武道館	福井				
				第35回居合道中央講習会			京都市	京都				
				第54回全日本東西対抗剣道大会			京都市	京都				
				第3回全日本都道府県対抗少年優勝大会			大阪府	大阪				
				剣道指導者講習会			敦賀市	敦賀				
				合同稽古会			敦賀市	敦賀				
				第56回福井県剣道大会			敦賀市	敦賀				
				居合道伝達講習会			県武道館	福井				
				10	4~5	土	日	地方青少年武道錬成大会			小浜市	福井
国民体育大会			大分県					大分				
剣道形講習会			県武道館					福井				
第5回坂井地区剣道大会			坂井市					坂井				
第43回全日本居合道大会			宮城県					宮城				
第21回全国健康福祉大会			鹿児島県					鹿児島				
11	2	月	日					20周年記念行事県立(武道館)			敦賀市	敦賀
								第56回全日本剣道選手権大会			東京都	東京
								第39回嶺南剣道大会			敦賀市	敦賀
								福井県実業団剣道大会			敦賀市	敦賀
				居合道六・七段審査会			敦賀市	敦賀				
				剣道七段審査会			敦賀市	敦賀				
				県高校新人戦			敦賀市	敦賀				
				剣道六段審査会			敦賀市	敦賀				
				剣道段位審査会			敦賀市	敦賀				
				第27回少年剣道敦賀大会			敦賀市	敦賀				
12	7	日	土	剣道八段審査会			越前市	越前				
				剣道七段審査会			越前市	越前				
				剣道六段審査会			越前市	越前				
				合同稽古会			越前市	越前				
				剣道形講習会			越前市	越前				
				新春奉納試し切り会・初稽古			越前市	越前				
				剣道・居合道初稽古			越前市	越前				
				全国都道府県県内予選会			越前市	越前				
				北信越高校剣道新人大会			敦賀市	敦賀				
				第3回福井県ジュニア育成強化剣道大会			敦賀市	敦賀				
1	3	土	日	剣道段位審査会			越前市	越前				
				高校冬季選手権大会			越前市	越前				
				居合道合同稽古会			越前市	越前				
				審議会			福井市	福井				
				理事会・評議員会			福井市	福井				
				第18回全国高校剣道選抜大会			春日井市	愛知				
				未定	7	日	金	世界一剣道教室			福井市(予定)	福井



明し、子どもたちに目的意識を持たせませす。次に素振り。一本一本おろそかにせず打ち切ることを教えます。

続いて、防具を着けての基本打ち。面、小手、胴、小手面の打ち方について、近くで自分の技を見せながら、「刀をイメージして」「打突後、すぐに次が打てる体勢を」「相手を変えて稽古するのは間合いをつかむため」など具体的に指導。子どもたちの発言を促したり、拍手を送ったりと、常に子どもたちの気持ちをつかみ、参加させながらの指導法はとても参考になりました。

午後からは返し技、応じ技の指導。栄花先生の多種多様で正確、しかも早い連続技に、子どもたちは感心しきりです。

最後は、栄花先生を含む指導者の先生三〇名が元立ちになつての懸かり稽古です。時間に制約はありましたが、およそ九〇名の子どもたちが実際に先生と剣を交えることができました。

実は、稽古以上に盛り上がったのが、お昼休みを利用した先生との記念撮影会。道場ごとに撮影しましたが、先生は撮影の度ごとに子どもたちの握手攻めにあっていました。また、稽古終了後には、栄花先生から子どもたちに、七段大会で二連覇した際に作った特製手ぬぐいをプレゼント。大ジャンケン大会が行われ、ラッキーな三〇名が手ぬぐいを獲得しました。

さて、全体を通して、栄花先生は大きく四つのポイントを子どもたちにご指導



最後に、子どもたちは感心しきりです。



①正しい技を練習しよう

試合ではどうしても「勝ちたい」という気持ちが先にたち、技が崩れてしまう。基本打ちは小手先に流れず、正しい打ち、正しい足の捌きや引付けを練習することが大事。そうすれば試合でも大きく崩れず、一本になる。栄花先生も今も基本打ちに最も時間を費やしているといえます。

②姿勢とは

良い姿勢とは「姿」「勢い」あること。攻める気を前面に出した構えでないと、気剣体の一致した打ちはできない。また、着装からきちんとすることが強くなるための第一歩である。

③求める気持ちが大切

先生は一番最初に防具を着け終えた四年生の子に「君は強くなるよ」と励ましました。少しでも早く防具をつけ、少しでも多く稽古をする。そういう求める心が大事。また、剣道を通して「考える力」を養い、人生にどう活かすかが重要。技でも自分なりの工夫を考え、実行してほしい。

④感謝の気持ちを持つ

剣道は「勝つ」か「負けるか」だけではない。相手があって、親や先生など支えてくれる人がいて初めて成り立つ。感謝の気持ちを忘れてはいけない。

終了後、子どもたちからは「指導がとても分かりやすかった」「逃げない気持ちを学んだ」「応じ技がとても参考になった」などの声が聞かれました。この世界一少年剣道教室を通して、自分なりに先生から技や心構えを学び、明日の練習や上達への意欲やきっかけをつかんだ様子でした。

(広報委員会 北林)

〈栄花直輝先生 略歴〉

- 一九六七年 北海道喜茂別町生まれ
- 小学1年生から剣道を始める
- 一九八九年 東海大学武道学科卒業
- 同年 北海道警察に奉職
- (現在北海道警察機動隊に所属)
- 二〇〇〇年 全日本剣道選手権大会個人優勝
- 世界剣道選手権大会個人優勝

試合結果

第 2 回 福 井 県 シ ュ ニ ア
育 成 強 化 剣 道 大 会

平 成 二 十 年 二 月 十 一 日 (祝)
於 福 井 県 立 武 道 館

二 巡 目 福 井 国 体 の 強 化 を 図 る た め に、
小 学 生 を 対 象 に し た ジ ュ ニ ア 育 成 大 会 が
開 催 さ れ ま し た。ど の 学 年 も、持 て る 力
を 十 分 に 発 揮 し よ う と 頑 張 っ て い る 様 子
が 見 ら れ ま し た。

今 大 会 に 各 学 年 ・ 部 門 に 入 賞 し た (ベ
ス ト 4) 選 手 を 集 め て 月 一 回、強 化 を 図 っ
て い く 予 定 で す。

結 果 は 以 下 の と お り。



1 年 生 の 受 賞 者

▽ 1 年 生 の 部

【優勝】朝倉未菜美

(今庄剣道スポーツ少年団)

【二位】貢 歩枝奈

(今庄剣道スポーツ少年団)

【三位】北島 正貴

(吉川スポーツ少年団 剣道部)

八幡桂志朗

(武道学園剣道教室)



2 年 生 の 受 賞 者

▽ 2 年 生 の 部

【優勝】松永 裕明

(丸岡剣道スポーツ少年団)

【二位】岸川 昂平

(江守の里少年剣道教室)

【三位】清水 陽太

(江守の里少年剣道教室)

富田 葉月 (鯖江泰誠館道場)

▽ 3 年 生 の 部

【優勝】馬淵 稜也

(敦賀剣道スポーツ少年団)

【二位】三橋 良仁

(武道学園剣道教室)

【三位】北川 拓弥

(武道学園剣道教室)

高木 聖哉

(南条剣道スポーツ少年団)



3 年 生 の 受 賞 者

▽ 4 年 生 の 部

【優勝】増永 大夢

(木田剣道スポーツ少年団)

【二位】小荒 浩夢

(越前少年剣道クラブ)



【三位】山本 零司

(敦賀剣道スポーツ少年団)

山田 遼馬

(武生南剣道スポーツ少年団)



4 年 生 の 受 賞 者

▽ 4 年 生 女 子 の 部

【優勝】内山田 楓

(木田剣道スポーツ少年団)

【二位】早瀬 夏貴

(東部少年剣道教室)

【三位】向出 晶子

(芦原少年剣道教室)

迎田 真由

(志比剣道スポーツ少年団)

少年団)



4年生女子の受賞者

▽五年生の部

【優勝】三浦 思間 (武道学園剣道教室)

【二位】宮下 将伍

(武生南剣道スポーツ少年団)

【三位】松平 悠志

(武道学園剣道教室)

加藤 章裕

(三国少年剣道教室)

▽五年生女子の部

【優勝】古河 望美

(立待スポーツ少年団剣道部)

【二位】飯塚 麻貴

(豊剣道スポーツ少年団)

【三位】桐生 奈緒

(三国少年剣道教室)

野村 知加

(鯖江泰誠館道場)



5年生女子の受賞者



5年生の受賞者



▽六年生の部

【優勝】佐々木尚紀

(鯖江剣道スポーツ少年団)

【二位】宮澤 拓也

(木田剣道スポーツ少年団)

【三位】梅田 圭仁

(武道学園剣道教室)

喜多村隆志

(木田剣道スポーツ少年団)

▽六年生女子の部

【優勝】堀 珠美 (鯖江泰誠館道場)

【二位】吉長 綾香

(吉川スポーツ少年団剣道部)

【三位】川猿 海鈴

(三国少年剣道教室)

中山真生里

(福井少年剣道クラブ)



6年生の受賞者



6年生女子の受賞者

目標は先生

木田剣道スポーツ少年団 内山田 楓

私は、五歳の時に木田剣道スポーツ少年団に入りました。毎週三回、苦しくて楽しい稽古をしています。いつも稽古で先生方は、いろんなことを教えていただきます。皆、一生懸命稽古をしています。私もそんな仲間たちと稽古をしているおかげで、第二回福井県ジュニア育成強化大会四年生女子の部で優勝することができました。稽古で頑張ったおかげだと思います。

そんな私たちを教えてくれた先生のように強くなって、色々な技を使って、いっぱい大会に出場して、大人になったら、先生のような立派な先生になりたいです。

だから、剣道を続けて強くなりたいたいです。先生方これからもよろしくお願ひします。そんな先生方が私の目標です。



がんばった一位

木田剣道スポーツ少年団 増永 大夢

最初にトーナメント表を見て、四年生の出場数が多いのにびっくりしました。試合が始まり一回戦から四回戦までは、延長戦や判定で勝ち進んでいきました。準決勝の相手は、武生南剣道スポーツ少年団の山田遼馬君で前の試合を見たとき、小手が上手なので小手に注意しようとは思いました。

試合が始まってすぐに倒され、それから五回ほど続けて倒され、自分の足が床にあたり、痛くて、ぼくは泣いてしまつた。すごくよしかったけれど、友達の声援のおかげで、ぼくは頑張りうと思つた。そしてぼくは思い切つて小手を打つた。審判員の旗が上がって勝つた。本当にうれしかった。

決勝は、越前少年剣道クラブの小荒浩夢君だった。この試合に勝つたら、優勝だと思つとドキドキした。小手抜き面一本とつて勝つたときはすごくうれしかった。念願の金メダルを取れて、本当にうれしかった。やったあー。

平成十九年度 北信越 高等学校剣道新人大会

平成二十年二月九日(土)・十日(日)
富山県砺波市

平成十九年度北信越高等学校剣道新人大会が、二月九日(土)・十日(日)の両日、富山県砺波市の庄川体育センターで開催されました。

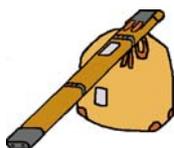
本県からは、男子団体に美方高校、敦賀高校、高志高校、北陸高校の四校と女子団体に北陸高校、啓新高校、美方高校、敦賀高校の四校が出場しました。本県は残念ながら、予選リーグを通過することはできませんでした。

男子団体予選リーグ

- 美方高校 一勝一敗 (リーグ二位)
- 敦賀高校 一勝一敗 (リーグ二位)
- 高志高校 一勝一敗 (リーグ二位)
- 北陸高校 一勝一敗 (リーグ二位)

女子団体予選リーグ

- 北陸高校 一勝一敗 (リーグ二位)
- 啓新高校 〇勝二敗 (リーグ三位)
- 美方高校 一勝一敗 (リーグ二位)
- 敦賀高校 一分一敗 (リーグ二位)



平成十九年度 県下高校 冬季剣道選手権大会

平成二十年二月十七日(日)
福井県立武道館

二月十七日(日)に県立武道館において、今年度県内で開催される高校の試合の最後となる冬季選手権大会が開催されました。

この大会の試合方法は、大将を先に倒したチームが勝ちとなる勝ち抜き方式による団体戦です。いつもの対勝負と違い、一人でも強い選手がいれば優勝できることや一つの学校から複数チームも出場できる



啓新高校女子のみなさん

きるため、普段出場できない選手たちにも出場するチャンスが与えられる大会です。試合は熱戦の結果、男子は美方高校A、女子は啓新高校Aが優勝しました。また、一番多くの選手を抜くことができた選手に、福井地区剣道連盟から送られる優秀選手賞には、小堀翔太選手(美方高校A)と堀端愛選手(啓新高校A)が輝きました。



美方高校男子のみなさん



〈男子団体の部〉

【優勝】美方高校 A

【第二位】敦賀高校

【第三位】北陸高校 A

高志高校 A

〈女子団体の部〉

【優勝】啓新高校 A

【第二位】敦賀高校

【第三位】美方高校 A

北陸高校 A

第三〇回 全国
スポーツ少年団
剣道交流大会

平成二〇年三月二六日(水)～二八日(金)に、静岡県武道館にて見出しの大会が開催されました。福井県代表として、団体の部(小学生)に丸岡剣道スポーツ少年団、個人の部(中学生)男子に齋藤展人君(吉川スポーツ少年団剣道部)、女子に富永夏帆さん(吉川スポーツ少年団剣道部)が参加しました。広い武道館において、一日目は開会式、合同基本錬成、交歓交流会などが行われました。二日目は団体・個人の予選リーグが行われ、三日目はそれぞれの決勝トーナメント、閉会式が行



われました。全国の厳しい予選を勝ち上がってきただけあって、各県代表ともレベルの高い剣道を展開していました。福井県代表は残念ながらその高い壁に阻まれ、予選突破はなりませんでしたが、今回全国レベルの剣道を肌で感じる事ができた選手たちには、この経験を生かすようにいっそうの努力をしていってもらいたいと思います。

結果

◆団体の部(小学生)

・予選Aリーグ

福井県 0-5 千葉県

(丸岡剣道スポ少)

先鋒 安原 一メ 室井

次鋒 遠藤菜 一メメ 水林

中堅 白波瀬 一メコ 杉山

副将 遠藤純 一メド 長田

大将 乗京 一メメ 榎本

福井県 0-4 大阪府

先鋒 安原 一メメ 三浦

次鋒 遠藤菜 一メメ 黒川

中堅 白波瀬 一メコ 加藤

副将 遠藤純 メ×コ 福永

大将 乗京 一コメ 稲葉

予選リーグ敗退

◆個人の部(中学生) 男子
予選Pリーグ

齋藤(吉川スポ少剣道部)

一コド 山田(奈良県)

齋藤 一ドメ 深津(千葉県)

予選リーグ敗退

◆個人の部(中学生) 女子

予選Iリーグ

富永(吉川スポ少剣道部)

一コ 古内(北海道)

富永 一メ 前田(鹿児島県)

予選リーグ敗退

全国大会に出場して

丸岡剣道スポーツ少年団 遠藤 純

全国大会に出場して、まず初めに他県選手の様子を見た時自分たちとのレベルの差を感じました。さらに合同稽古でも一つ一つの技を確実に打っているの、すばらしいなあと感じました。試合に向けてしなければならぬことの大きさを勉強させてくれる大会だったと思います。今回の全国大会を見て感じたこと、稽古や試合で体験したことすべてを、これからの稽古に生かしながら頑張っていきたいと思います。また、自分だけでなく周りの人たちにも伝えていきながら、みんなと一緒に強くなりたいです。



科学技術高等学校剣道部のみなさん

平成二十年二月発行の広報誌「剣道だより」の中で掲載されました科学技術高等学校剣道部の写真が抜けておりました。科学技術高等学校剣道部の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。まことに申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。

お詫びと訂正

みんなの広場

剣道部・
くうづ紹介



芦原少年剣道教室

- 1. 稽古場所 あわら市武道館
- 2. 日 時 月水木
(ただし高学年は月・水、低学年は月・木)
午後六時半から八時半(低学年は八時まで)
- 3. 人 数 二十一名
(行事によっては、中学生も参加する)

芦原少年剣道教室は、今は山形在住の「今庄町出身」杉浦正人先生が、芦原中学に赴任してきた時に、始まりました。三十三年前のことです。

杉浦先生が、芦原に来たことについては、面白いエピソードがあります。それはあるとき筆者が、元県会議員北川昭治先生から聞いたのですが、芦原町に武道館を建設するにあたり武道の専門の「ただし柔道」先生を呼ぼうということになり、然るところへ働きかけたそうです。そのかいあって、日本体育大学出の若い先生が赴任してきたわけですが、その頃の町長も北川先生も、杉浦先生と会うまでそれが剣道の専門家だとは知らなかったそうです。どこでどう間違ったかかは今となっては調べようもありませんが、この間違いが今の芦原の剣道の礎となったのは間違いありません。なんとも不思議な気がします。

その後、福井国体等で活躍された半田隆三先生とへたくそだけど熱心だけがとりえの筆者等が、杉浦先生の手伝いをするようになり、一時期

宅地建物取引業
県知事(12)第210号

株式会社 芦原地所

〒910-4121
福井県あわら市東温泉1丁目217
TEL (0776) 77-3313
FAX (0776) 77-2271

吉川鉄工所

吉川 忠良

福井県あわら市花乃杜
4丁目1番地12号
TEL (0776) 73-0318

は百名を超える子供たちが、せまい道場にひしめき合って稽古をするようになりました。当然のように試合結果もよいものも出るようになりました。

しかし結果を出した子供ほど、燃え尽きるのが早いことに気づき、やり方を変えることにしました。その結果、現在は指導者や、小学生のかなりの部分が芦原少剣出身者、およびその子供たち、それらもどちらかという結果が出なかつた子とその子供というふうになって来ました。

現在指導にあたり、気をつけていることが三つあります。ひとつめは、剣道が嫌いな子を 作らないこと。ふたつめは、どこへ行っても通用する子を作ること。そして最後に一番気をつけていることは、剣道をしてるからえらいんじゃない。いろんなことを出来て、なおかつ剣道をしてるからえらいんだということを子供の心に植えつけることです。

今でも年に十回以上、大会や交流会に出かけていますが、大会に参加するという事は、例え一回戦で敗れても閉会式に防具着装で出る。これが大会に参加するといううことである。勝ち負けも大事だが、それに向かうことの大切さのほうが大事ということをはっきりと実践して行っています。この先、剣道が続いていく場合どんな考えの指導者に当たってもいいように、面紐は上から付ける、面タオルは、低学年の子供にとって非常に難し

いというめんもあるが、根気良く待ってやれば出来るようになる。また技は大きくまっすぐに。そして一番大事なことは、剣道よりも勉強が上。稽古に来るときは、宿題を終えてから、そのために遅れてくるのはかまわない。剣道よりも健康が上、痛いところ辛い事があつたら遠慮なく休むこと。その代わり治つたら目一杯がんばること。このことをいつも自分にも、子供にも言い聞かせて日々活動しています。

(記 紺屋嶋三津男)

吉川スポーツ少年団剣道部

吉川スポーツ少年団剣道部は、昭和五十九年に創立し二十五年度です。創立当初から「礼法、基本動作を身につけるため、大きな



声で面打ちと足捌きを繰り返し、威勢のよさでは他と引けを取りません。団旗には「不撓不屈」という言葉を用い、どんな困難にあつ

てもひるまずくじけないことを子ども達に指導しています。現在部員は小学生十三名、中学生等を含め二十一名であり、月水土の週三回午後六時から八時半まで稽古をしています。指導者は初心者に漆崎彰と田中智子の二名、小・中学生に富永幸人と加藤昌広、児島俊也、辻七重の四名が担当している。

最近入部する生徒が少なく、各学年三名程度が理想ですが、揃わないのが現状です。そこで昨年からは、毎週月曜日に隣地区の立待スポーツ少年団剣道部と合同稽古を行い、お互いの団にとって刺激になるよう取り組んでいます。平成十九年度最後の鯖江大会が二月に行われ、団体三位、個人戦優勝一名、二位三名、三位三名とまずまずの成果を収めることができました。

(記 漆崎 彰)

国高剣道スポーツ少年団

- 1. 稽古場所 越前市国高小学校体育館
- 2. 毎週水・日(午後七時から)
- 3. 指導者 日下 博幸

「弱いんだけどね...でも頑張ってます。」

仲間ごとよ!

水曜日と日曜日、夕方の小学校体育館に元気な声が響き始めます。私たちの地域は越前市の中央に位置し、国道八号線

沿いの商業地域と周辺の住宅地域の発達と変化が目覚しい中にあります。

そんな中で国高剣道スポーツ少年団は、創設二十九年目



を迎えました。以前は団員が六十名以上いた時期もありましたが、最近は二十名前後と団員減少に悩みながらも頑張っています。女子団員は二人と少ないながらも男子以上の?元氣と根性を発揮しています。成績はいまいちですが... (おっと勉強のことではありませんよ)。

活動は四季折々のレクリエーションも楽しみで、特に冬のスキー宿泊研修は、親子で一泊二日で行われ、二十年近く続けている伝統行事です。スキーを知ってからは冬が楽しみとなり、剣道の時にはつらい冬場でも元氣に乗り切る原動力になっています。私たちには、今とても頑張っている先輩がいます。剣道部のない中学校にもかかわらず活動をひとりで取り組んでいます。そんな先輩が私たちの稽古相手として、胸を貸してください。

小浜少年剣道教室

私たちがそんな先輩に負けないように、「元氣な剣道」、「自分の弱い心に負けない剣道」、そして「基本を大切にしたい剣道」を目標にしながら、先生方と一緒に頑張っています。「やっぱり剣道をしてよかったなあ」と思うことのできる活動になるようにしたいと思っています。大会会場などで見かけましたらヨ・ロ・シ・ク・ね!

(記 国高 劍子)

- 1. 稽古場所 小浜市武道館
- 2. 稽古日 火・木(午後七時～八時 三十分)

土(午後一時三十分～四時)

小浜少年剣道教室は、昭和四十八年に服部節男先生、田村周山先生が中心となり始められた剣道教室が前身となっています。当時は、稽古する場所もなく、小学校の体育館や青空の下でも稽古が行われたように聞いています。その後、市民体育館が完成し、発足当初は五十名程の所帯であったようです。現在では、小浜市武道館にて、片野田秀生先生を中心に山本浩志先生、竹内貴則先生、小畑嘉久先生、私、新谷の指導の元、週三回活動しています。近年徐々に生徒が少なくなってきているのが気がかりなところではあり

ますが、現在は十五名程度の生徒が「不撓不屈」の道場訓のもと、和を大切に、日々、心と体を鍛えています。

また、小学一年生から熱心に参加する生徒や、剣道教室OBの中・高校生及び積極的なご父兄の力添えもあり、和やかな雰囲気の中にも一体感のある運営が出



来きてきたなあと思っております。

教室での活動としましては、昭和四十七年から続いている奈良市との姉妹都市親善交流大会や滋賀県との交流大会があります。奈良親善大会では、三年毎に行われ、剣道はもちろんのこと両市の文化交流で友情を長年深め合っています。また、滋賀県との交流大会は、今年度で四年目と、まだ年月の浅い事業ではありますが、新しい試みとしてこれから益々期

待されるところであります。至近では、滋賀県から十五チームの参加があり、年々の増加に主催者側としては嬉しい限りであります。

その他には、一泊二日の短い日程ではありますが、合宿も取り入れられたり、少しでも武道の精神にふれる機会と考え、鏡開き、土曜稽古、寒稽古等も行っており、楽しい中にも厳しさを取り入れております。

これからも部員の勧誘を積極的に行い、更に盛り上がった雰囲気の中、指導を続けていきたいと思っております。今後とも各先生方のご指導、ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願いいたします。

年間行事

- 七月 昇級審査・土曜稽古会
 - 八月 奈良市との親善交流大会 (三年毎)
 - 合宿
 - 九月 市民大会
 - 十一月 嶺南大会
 - 十二月 交流大会(滋賀県)
 - ・稽古納め
 - 一月 稽古始め・鏡開き・寒稽古
 - 二月 小浜市柔剣道大会
 - ・冬季剣道大会
 - 三月 昇級審査・剣道教室卒業式
- (記 新谷 勝利)

明道中学校剣道部

明道中学校剣道部は、部員数十九名(男子十二名、女子七名)です。「堅忍不拔」をモットーに、県大会出場を目指して、日々の稽古に打ち込んでいます。

明道剣道部の特徴の一つは、基礎トレーニングにあります。身体能力を高めるために、稽古以外でビリーザブートキャンプを行ったり、全中に出場した陸上部の体幹トレーニングを取り入れたりしています。また、積極的に高校の剣道部へ合同稽古を申し込み、高校生に稽古をつけてもらっています。その成果として、平成十九年度の福井地区の新人戦では、男子団体が三位に入賞しました。女子は決勝トーナメントの一回戦で敗れたためベスト八でしたが、優勝した藤島中学を後一本のところまで追い込むという試合が展開できました。生徒たちは、一本を取る剣道を目指し、稽古に励んでいます。

今後は、技の練習するだけでなく、心の修練にも力を入れていきたいと思っています。中学生は、心と技が直結しています。心が不安定であれば、技も不安定になって、切れがなくなってしまう。試合に勝つことだけを剣道の目的とせず、自分を心も技も鍛える場として、剣道に取り組んで欲しいと考えています。明道中学校剣道部は、生徒と教師が力を合



わせて成長していける環境を目指しています。

(年間行事)

- 五月：地区中体連春季強化大会
 - 六月：福井市民剣道大会
 - 七月：地区中体連夏季大会
 - 八月：県中体連夏季大会
 - 十月：地区中体連秋季大会（新人戦）
県中体連秋季大会
 - 二月：冬季強化大会
- (活動日・時間)**
月～金曜日 四時四十分～六時三十分
(冬期は六時終了)

土曜日 九時～十二時
活動場所：福井市明道中学校柔剣道場
福井市文京二一五一

(活動の様子)
練習メニュー（通常時）

- ① ストレッチ (体幹トレーニングを含む)
 - ② 素振り
 - ③ 基本打ち練習 (追い込みもやっています)
 - ④ 応じ技練習
 - ⑤ 地稽古
 - ⑥ 係り稽古・合い係り稽古
 - ⑦ 切り返し
- 大会前や、週末は他中学との練習試合を積極的にを行っています。
(記 刀裃 敬則)

武生第一中学校剣道部

武生第一中学校剣道部は、昭和三十三年に旧武生市で初の剣道部として産声をあげ、県下中学校剣道部の草分け的な存在として現在に至るまで数々の素晴らしい成績をあげてきました。その中でも昭和六十二年に女子が初の全国大会出場を果たしております。校下には西・大虫・吉野の三つの剣道スポーツ少年団があり、熱心な活動を行っています。これらのス



ポーツ少年団の卒業生が主力となって部を支えてくれていますが、今後もしっかりと連携を図り全国大会等へ出場し、多くの小中学生に剣道の素晴らしさを伝えていきたいと考えています。
現在は男子七名と少人数ながら、「強く、正しく、美しく、優しい人間を目指して」を合言葉に日々稽古に精進しています。剣道からいろいろなことを学んで日々の生活に活かそうと、稽古の時から各自で考え、自分なりの考えや課題を持って取り組み、目標が達成できた時に、自信につながるように稽古の内容をいろいろ工夫しながら稽古に励んでいます。現

坂井地区剣道連盟

昭和五十九年四月、旧坂井郡六町（三国・芦原・金津・丸岡・坂井・春江）が結集発足し、坂井郡剣道連盟を設立されました。市町村合併により、平成十六年には芦原町と金津町が合併し、あわら市となったのを機に、坂井地区剣道連盟（坂井郡・あわら市）に名称変更を行い、平成十八年には旧四町（三国・丸岡・坂井・三国）が合併し坂井市となり、二市で構成とする団体となりました。現在、会員数百四十五名を擁する団体となつて

状は、思うような戦績が残せていない状況ではありますが、地区大会で優勝できるように、県大会や北信越・全国大会で活躍できるように、今後もチーム一丸となって厳しい稽古に取り組みたいと考えています。
また、日々の生活が送れるのも、稽古ができるのも、保護者の方に見守られ、協力をいただいているからであり、周囲の人に支えられていることを常に念頭に置き、感謝の気持ちを忘れることなく、日々己を磨いて向上していけるように努力を重ねていこうと考えております。今後ともご指導、ご声援のほどよろしくお願ひします。
(記 山本 澄人)



います。
 事業としては、級位審査を年四回開催のほか、小・中・高・一般を対象とした練成会を、丸岡高校の学校開放の協力を得て、第二体育館にて毎月開催しています。内容は、高段者二名の指導による基本錬成を九十分、一般会員元立ちによる稽古四十分、その後四十分ほどの会員稽古会を行っています。

また、旧坂井郡民剣道大会を坂井地区剣道大会に名称を変え、一部は所属剣道連盟対抗、二部に男女三人制の団体戦を行っています。

さらに特徴的な事業として、公立武道館協議会主催の地方青少年武道錬成大会を芦原・丸岡両武道館主管で行い、講師

として八段の先生と稽古会をきっかけに、若手八段の先生をお招きし二日間の講習会を開催していることです。これまで、千葉胤道 教士八段、蒔田実 教士八段、林邦夫 範士八段、石田健 一範士八段の先生方に講習会をお願いしてきました。

これらの事業をとおして、剣を交える実質会員も六十名に達し、さらなる若手会員の参加を促す呼びかけをしています。



として八段の先生をお招きし二日間の講習会を開催していることです。

注文住宅、増築、改築設計施工

エムD建築

浅野木材工業株式会社グループ

代表 前田純夫

〒910-0231

福井県坂井丸岡町霞町1-32-1

TEL (0776) 66-7437

FAX (0776) 66-7437

PRINT & INDUSTRIAL TAPE



株式会社 福音

福井県坂井市丸岡町篠岡

42号30番地 (文京区)

TEL (0776) 67-2033

FAX (0776) 66-3603



練成会、他剣道連盟よりの参加も歓迎しておりますので是非ご参加ください。

(記 坂田 豊嗣)

ジュータン・カーペットクリーニング専門

(有)サンワ インテリア サービス

代表取締役 豊福安治

- ・ジュータン、カーペットのクリーニング
 - ・ソファのクリーニング
 - ・オフィスの床、ガラス等の清掃
- その他、各種クリーニング、清掃のことならお気軽にご相談ください。

〒919-0504 坂井市坂井町御油田14-42

TEL 0776-67-1798 FAX 0776-67-4820

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十年二月十日

越前市武道館

〔初段〕 四十名

- 舟田 悠己 (大東中)
- 近者 郁也 (小浜二中)
- 明頓 耕平 (森田中)
- 内田 数人 (森田中)
- 森 洋貴 (松岡中)
- 森山 健人 (松岡中)
- 田倉 裕大 (武生二中)
- 松宮 拓矢 (高浜中)
- 三澤 世蓮 (福井農林高)
- 松宮 尚矢 (高浜中)
- 正山 涼介 (警察官)
- 加藤 隆汰 (春江中)
- 石本 優 (警察官)
- 水上 範崇 (春江中)
- 三上 泰弘 (福井地区)
- 佐々木 基裕 (森田中)
- 中谷 実伸 (越前地区)

- 橋詰 誠 (成和中)
- 光原 美智 (角鹿中)
- 山崎 博明 (足羽一中)
- 牧野 壬紅 (中央中)
- 長谷川 大 (小浜二中)
- 太田 千皓 (足羽一中)
- 朝倉 崇憲 (足羽一中)
- 藤沢 紗月 (足羽一中)
- 広瀬 晴規 (金津中)
- 森口 珠里 (角鹿中)
- 竹山 大智 (成和中)
- 奥山 ちさと (武生二中)
- 高山 彰平 (春江中)
- 林 萌美 (三国高)
- 野村 英功 (小浜二中)
- 山崎 亜梨紗 (三国高)
- 斎藤 碩文 (高浜中)
- 矢野 沙也香 (若狭高)
- 木村 研太 (小浜二中)
- 高柴 生恩 (福井地区)
- 嶋田 泰佑 (成和中)
- 杉本 直子 (福井地区)
- 小西 慶幸 (金津中)

〔貳段〕 六名

- 吉 寄 嘉人 (鯖江中)
- 山田 真潤 (三国高)
- 高間 雄太 (三国高)
- 高宮 円 (若狭高)
- 堀江 翔太 (三国高)
- 小嶋 美穂 (美方高)

〔参段〕 六名

- 高橋 泰平 (福井高)
- 石 畝 祐太郎 (慶応大)
- 石丸 翔太朗 (丸岡高)
- 嶋崎 さおり (坂井地区)
- 吉村 光平 (仁愛大)
- 細田 伊都子 (坂井地区)

〔四段〕 四名

- 西江 智誉 (県立大)
- 松井 一平 (警察官)
- 山田 英典 (越前地区)
- 山田 聖子 (越前地区)

〔五段〕 三名

- 高嶋 寿美 (福井地区)
- 山田 昭栄 (越前地区)
- 高橋 克平 (鯖江地区)



女性剣士の部屋



嶺南若狭地区きらやま剣道教室のこども達と一緒に剣を交えるようになって早十二年が経とうとしています。きっかけは「長男に剣道を習わせたい」という親の思いからですが、稽古を見守る中、いつの間にか親の私の方が稽古に参加するのが楽しみとなり、親子で剣の道を歩む事の幸せを感じつつ、苦楽をともにしながら、成長していくわが子に「生涯剣道を貫いて欲しい」という思いは年々深まるばかりでした。

残念ながらその思いは息子や娘に届かず、それぞれ別の道を歩み始め、落ち込んだ時もありましたが、生涯の恩師 故小堀源治郎先生の「それでも前へ」という教えがいつもそっと背中を押してくれました。私自身も地元三方の小さな分校で、初めて剣道の指導を受けたのがちょうど小学校二年生。当時は、分校の生徒全員が剣道を習うという、なかば授業のように当たり前に竹刀を振っていました。大勢の指導者の方々に何度も稽古をつけていただいた事がなつかしく思い出されます。

剣道の町三方は今も師の恩を忘れることなく、熱心な先輩方々による指導が脈々と受け継がれています。そして小さな町だからこそ大きな夢に向かって羽ばたく剣士達が育ってきている事は大変喜ばしい事実です。

——きらやま剣道教室の誓い——

【私達は、剣道によって、礼儀を正しくし、両親に感謝し、先生を敬い、剣道少年としての誇りを持って、正しい道を歩いて、世の中のために役立つよう、がんばります！】

原点に戻り、剣の心と感謝の心を思い起こし、大きな声で誓いの言葉を唱和し、こども達と一緒に今日も稽古をがんばります。

若狭地区 きらやま剣道教室 坂本 美鈴

福井県剣道連盟ホームページ開設のお知らせ

このたび、本連盟のホームページを開設しました。
HPアドレスは <http://fken.eh-b.net/> です。



是非、一度
アクセスして
ください。

- ④ 現在の内容は次のとおりです。④
- ☆会長挨拶
 - ☆行事予定
 - ☆組織・役員
 - ☆事業報告
 - ☆試合結果
 - ☆段位審査会合格者
 - ☆稽古会・指導者講習会
 - ☆新着情報
- ④ 今後内容を充実して行く予定です。④

内容充実のために皆様のご協力をお願いします。
お気付きの点やホームページに掲載してほしいことなど
ありましたら、福井県剣道連盟事務局までご連絡下さい。

福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください。
宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 附属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776) 28-6616